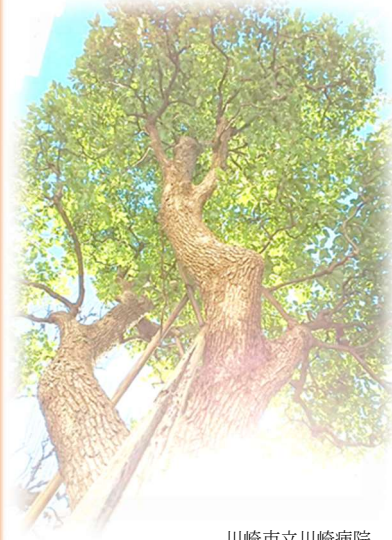


川崎市立川崎病院
シンボルツリー

川崎市立川崎病院の基本理念

私たちは、地域の基幹病院として、他の医療機関と連携し、「病気」でなく「病人」を診る心を大切に、安全安心で質の高い医療を、患者の皆さまとともに考え、実践し、健康と福祉の向上を通じて地域社会の発展に貢献することを目指します。

患者さんの権利や
病院運営方針はこちら



川崎市

スポーツにかかわる



ケガ特集



皆さんはスポーツをされていますか？適度な運動は、心身を健やかに保ち、人生を豊かにしてくれる一方で、思わぬケガにつながることもあります。そこで、今回はスポーツにかかわるさまざまなケガを取り上げます！正しい知識を学んで、スポーツの秋をおもいっきり楽しみましょう♪

ゴルフ肘、テニス肘

ゴルフやテニスなどで肘のつかいすぎによって筋腱付着部が痛む状態です。ゴルフ肘では肘内側、テニス肘では肘外側に症状が出ます。

安静にしたり、バンドや湿布などでも良くならない場合、病巣を取り除く手術を行うこともあります。

テニス肘バンドの
装着イメージ

さまざまな部位のケガについて学びましょう！



槌指(つちゆび)

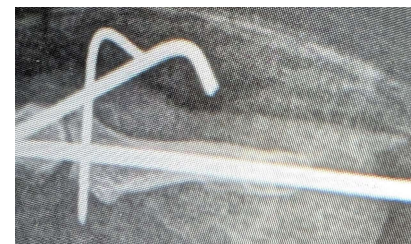


ボールなどが当たり「つきゆび」をした後、指の第一関節部の痛みがとれない時に診断されることが多い骨折です。そのままでは関節の変形や痛みが残るので早期に手術が必要です。手術はシンプルで、局所麻酔で針金を2～3本入れる日帰り手術(石黒法)が行われます。

骨折部



術前

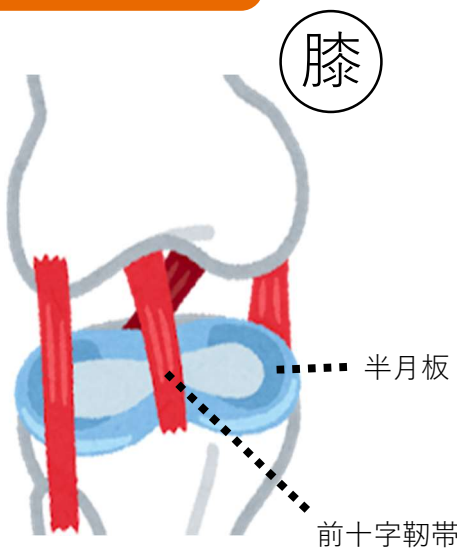


術後

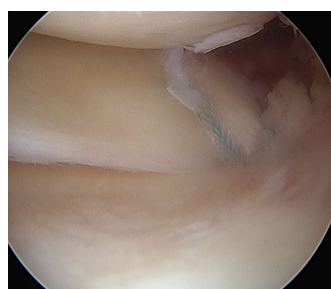
前十字靭帯損傷(ぜんじゅうじじんたい そんしょう)

前十字靭帯は膝関節の前後方向と回旋方向の動きを制御しています。前十字靭帯損傷はスポーツによる膝外傷の中で最も頻度が高く、バスケットボールやサッカー、スキーなどでジャンプ後の着地や急な方向転換で損傷します。

関節内にある靭帯で血流が乏しく、一度損傷すると自然治癒は期待できないため、スポーツ復帰を目指す場合は手術が必要となります。手術は関節鏡を用いて低侵襲で行います。損傷した靭帯の代わりに患者さん自身の腱(自家腱)を使用します。



半月板損傷(はんげつばん そんしょう)



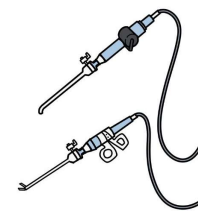
縫合した半月板

半月板は大腿骨と脛骨の間にある線維軟骨です。内側と外側の半月板があり、軟骨の負担を減らすクッションの役割をしています。

損傷により痛みや急に膝が伸びなくなる”ロッキング”が起きます。手術は関節鏡を用いて損傷部位を縫合します。

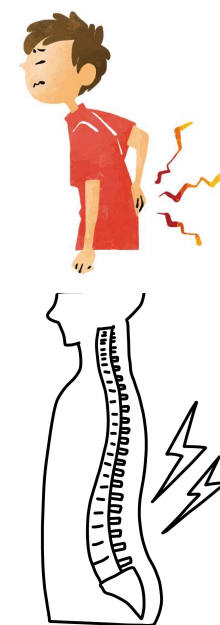
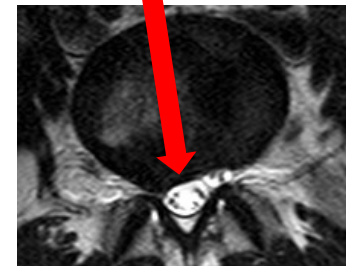
腰椎椎間板(ようつい つかんばん)ヘルニア

内視鏡手術の器具

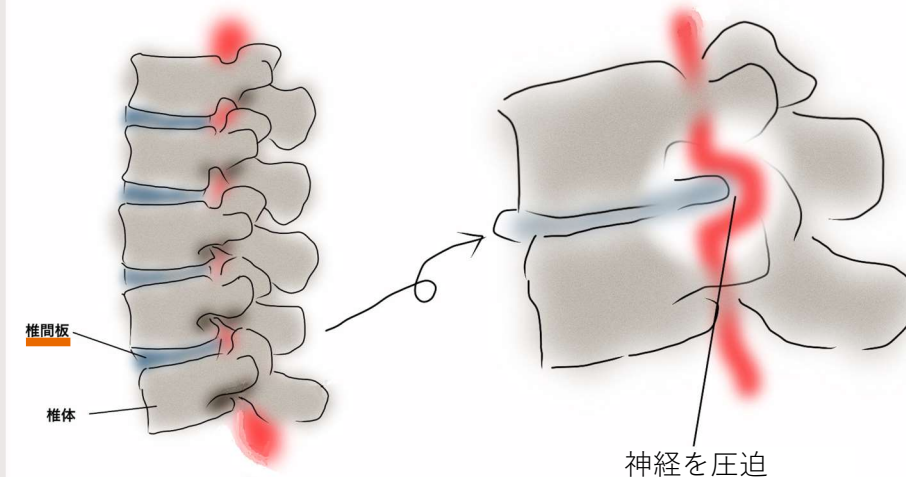


腰の骨と骨の間にある椎間板の一部が突出して、神経を圧迫する病気です。20～30代の男性に多く発症し、治療法はブロック注射、ヘルニアを収縮させる酵素を椎間板に注射する治療、内視鏡手術など様々です。ヘルニアのタイプや患者さんの症状、年齢、活動レベルに応じて治療法を検討しています。

突出したヘルニア



腰椎椎間板ヘルニア

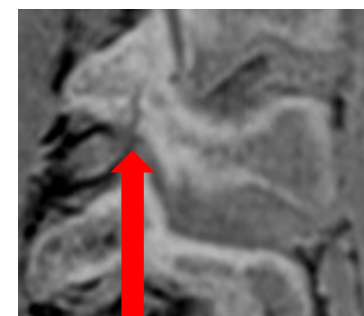


腰椎分離症(ようつい ぶんりしょう)



コルセットの装着イメージ

スポーツに励む10代の中高生に多い腰骨の疲労骨折です。放置しておくと骨折が治らず、手術が必要になる可能性もあります。コルセットを着けて、3～6か月間スポーツを完全に中止すれば完治が期待できます。早期にMRIを受けることが重要です。



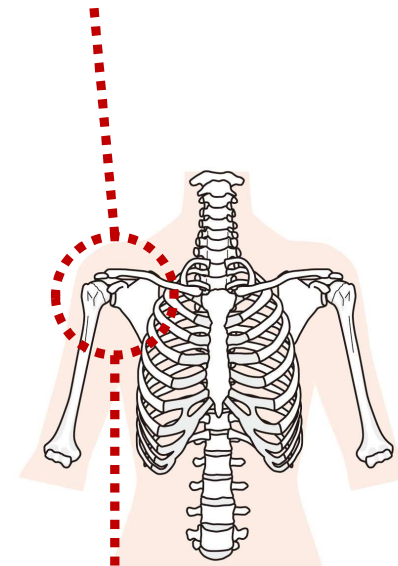
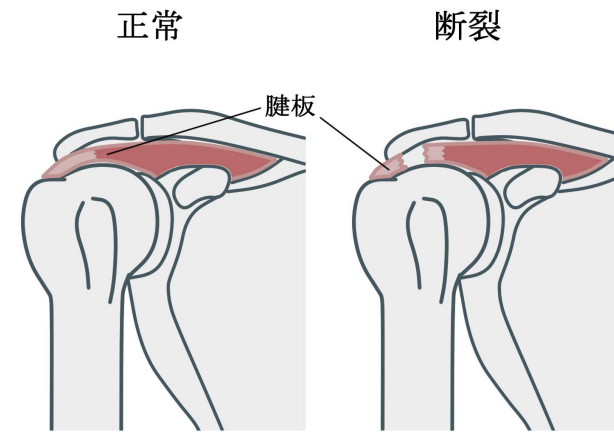
分離(疲労骨折)した箇所

腱板断裂(けんばん だんれつ)

肩甲骨と上腕骨をつなぐ筋肉の付着部(腱板)が損傷や断裂している状態です。加齢や使いすぎ、転倒などの外傷や重い荷物を持つことなどで発症します。動作時の痛みや可動域の制限、就寝時の疼痛などの症状が特徴です。



安静や投薬、リハビリなどで改善しない場合は、関節鏡で修復する手術をすることがあります。



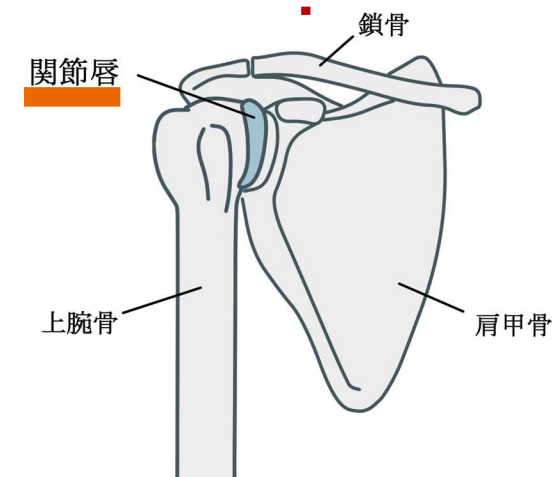
関節唇損傷(かんせつしん そんしょう)

肩関節の関節窩縁にある関節唇の損傷です。繰り返す投球などの動作や脱臼などで発生します。

動作時の痛みや可動域の制限、脱臼しそうに感じる不安定感などの症状が特徴です。安静や投薬、リハビリなどで改善し



ない場合は、関節鏡で修復する手術をすることがあります。



診察前に マイナンバー カード

ご来院の都度、受診前に、各診療科の受付や1階 総合案内近くにあるカードリーダーに、マイナンバーカードをかざしてください。

〔発行元〕 令和7年9月16日発行(第58号) 発行責任者: 瀬川 裕 / 編集: 広報委員会
事務局: 川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話: 044-233-5521
<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/>

本誌は
ホーム
ページで
読めます

